

令和 4 年 2 月 15 日

瀬戸内市議会議長殿

瀬戸内市議会議員 小野田 光

政務活動費研修報告書

期間	令和4年2月5日
研修会名	第53回市町村議会議員研修会「これからの大規模災害に備えての行政の考え方」 講師 兵庫県立大 室崎 益輝
開催場所	オンライン (ZOOM)
研修目的・ 内容	<p>年々激甚化する豪雨災害や台風、また迫りくる南海トラフ大地震等に対する備えや防災対策等の知見を得ることにより、本市の防災力向上に寄与する為。</p> <p>災害全般において、多様化と複合化、巨大化と頻発化といった傾向にある。そうした中で、社会はというと、少子高齢化・コミュニティの衰退などにより、脆弱化している。 自治体の防災態勢もしかりで、減災力が減退しており、これからの大きな課題となっている。</p>
所感	<p>災害の巨大化と頻発化が顕著になっている昨今、国内においては、世界に類を見ない少子高齢化が進み、各地における地域コミュニティの衰退も否めない中、共助・公助もさることながら、自助をより進化させた個別の避難計画等の必要性を感じた。</p> <p>日常的な備えは勿論、住民を交えた地域に合った、個々に合った防災訓練、正しい情報の共有、周知徹底等、より積極的な啓発の必要性を考えさせられた。</p>

